

2 年	生活	「えがおのひみつ たんけんたい」 28 時間	概 要	・少人数グループ ・地域の人や物	適 ○
手 立 て	・ICT 機器の活用： 具体的に体験したことを思い出したり伝えたりしやすいように、タブレットで児童が撮影した写真を提示できるようにする。 ・ワークシートの活用： まだタブレット操作が難しいため、手書きでまとめができるワークシートも用意し、各自で選択できるようにする。 ・少人数グループでの話し合い： (友達と)(地域の人と) 全員が意欲的に参加し活動を楽しめるように、「みんなでまとめるにはどうすればよいか」という視点で、発表形式や内容を考えるようにする。 地域の人たちの仕事や思いなどを振り返り、自分たちが社会の中で育っていることを実感できるようにする。 自分たちが見つけた「えがおのひみつ」を他の人にも知らせたい、もっとえがおがふえる町にしたい、という気持ちを引き出し、今後どうするかを考えられるようにする。		児 童 の 様 子	・自分たちの考えがそのまま学習につながるので、とても意欲が高かった。 ・個々の能力により、学習への取り組み方に差が出た。 ・普段、大勢の前では発言しない児童も積極的に話し合いをしていた。 ・発表で、スライドを選んだグループが複数あったが、タブレット操作のスキルが伴わず思い通りにはいかなかった。模造紙などの紙に書くグループも、レイアウト等につまづき、難しかった。	
成 果	・少人数グループで、調べたいことや調べる方法、結果を知らせる方法などを話し合い、進めることができた。 ・自分で動かないと何も進まないの、全員が意見を言ったり、協力したりし、責任をもって学習に取り組めた。 ・地域の施設や商店への理解が深まり、愛着をもって生活するようになった。		課 題	・グループのメンバーの特性によっては、自力での学習が難しい場合もある。グループによって学びの質に差が生じるため、意図的編成をする必要がある。 ・話し合いや発表のルールやスキルを身に付けるためには、学校生活全体での指導が必要。 ・発表経験を積み重ねていくことで、様々なスキルを身に付けさせたい。	

